

JICA と鹿屋体育大学、ペルーで柔道普及の共同事業

覚書を締結し、今後3年間で同大生7名を派遣

2025年1月10日（金）、独立行政法人国際協力機構九州センター（JICA九州）と国立大学法人鹿屋体育大学は、ペルー共和国でのスポーツ・武道の振興を共同で進めるため、JICA海外協力隊の連携派遣に係る覚書を締結します。署名式には、金久 博昭・同大学長と後藤 光・JICA九州所長が出席します。

覚書に基づき、JICA海外協力隊員として同大の計7名（長期派遣1名、短期派遣6名）が今後3年間にわたりペルーに派遣されます。現地ではペルー日系人協会に所属し、地域の柔道クラブや道場・大学等での柔道の巡回指導、鹿屋体育大学とペルー国柔道関係者の間を定期的につなぐ活動（オンライン講習会等）などに従事します。

【ポイント】

- 鹿屋体育大学による組織的な取り組みの実現：
学生個人による活動のみならず、大学が組織的に関与（後方支援）することにより、ペルーにおける柔道の普及・振興が一層促進されます。
- 日本古来の「道」を伝える：
鹿屋体育大学の学生は高い技術力だけではなく、日本古来の「道」の考え方を学んでおり、ペルー柔道界に「精力善用・自他共栄」といった柔道の精神を伝えます。
- 活動経験を日本社会に還元：
今回派遣される学生は、活動経験を糧に外国人と日本社会の架け橋となり、多文化共生に取り組む鹿児島県等に貢献することが期待されます。

【取材可能日時と場所】

日程：2025年1月10日（金）

09時00分～：鹿屋体育大学柔道場（柔道場を見学頂けます）

10時00分～：鹿屋体育大学管理棟大会議室（覚書の署名式を取材頂けます）

（鹿児島県鹿屋市白水町1）

※ なお、質疑応答については別会場をご用意し、10時30分より実施いたします。希望される場合は、式場にいる職員に予めお知らせください。式終了後に会場をご案内いたしますので、速やかにご移動いただけますようお願いいたします。

■問い合わせ先

取材いただける場合は、事前にJICA九州の渡久地（とぐち）までご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 九州 市民参加協力課 渡久地 舞
TEL : 093-671-8341
E-mail : Toguchi.Mai@jica.go.jp

【参考】

■ペルーへのJICA海外協力隊派遣実績（柔道分野）

ペルー共和国の日系人数は約20万人と言われ、ラテンアメリカではブラジルに次ぐ規模の日系社会が存在します。日系人協会を中心として柔道の普及が行われており、競技スポーツとしての「JUDO」が盛んに行われています。これまでJICAは、同国に柔道分野のJICA海外協力隊員を6名派遣しています（うち鹿屋体育大学の卒業生は1名）。

■JICA 海外協力隊について

JICA 海外協力隊は日本政府の ODA 予算により、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。

その主な目的は、以下の 3 つです。

- （1）開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与
- （2）異文化社会における相互理解の深化と共生
- （3）ボランティア経験の社会還元

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。